



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

- キャビネットが脱落するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・W18H08 / W045H23 / W09H23 / デスク / 地板なし / 家電専用キャビネットは必ず床置き納まりで使用してください。
 - ・必ず背板芯材に接着剤を塗布してください。
 - ・指定の位置に、厚さ30mm×90mm以上の硬木の棧木を必ず取付けてください。
 - ・棧木には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。
 - ・棧木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。石こうボードの表側には取付けないでください。
 - ・リフォームなどの場合で、棧木が石こうボードなどで確認できない場合は、石こうボードをはがして棧木位置を確認してください。棧木がない場合は棧木を必ず取付けてください。
 - ・組立ての際は、接合部など指定箇所には必ず付属の接着剤を充てんしてください。又、組立て後は接着剤が硬化するまで(半日以上)養生してください。
 - ・キャビネットの固定の際は指定のねじを指定の本数使用し、棧木の場合は25mm以上かかるようにしてください。
 - ・必ず指定の位置で固定してください。
 - ・壁面(躯体)への固定は付属のねじでキャビネットの倒れないように取付けてください。
 - ・床置き納まりにする場合は、安定した平らな床面に取付けてください。畳・じゅうたんなど不安定な下地に取付けないでください。
- 火災・感電などのおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・電気工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず有資格者が行ってください。
 - ・電源ケーブルは端子台やコンセント器具の奥に突き当たるまで差込んだ後に引張って、容易に抜けないことを確認してください。

■取付け上のおお願い

- W09用樹脂棚板は鉄芯が入っている側を前側にして設置してください。棚板が脱落するおそれがあります。
- 収納の荷重が床面へかかることを考慮し、床面下地の補強をしてください。(固定棚板の耐荷重は20kg、可動棚板の耐荷重は10kg、樹脂棚板の耐荷重は7.5kgです。)
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが損傷するおそれがあります。
- 本製品のねじ締付け時には、手回しドライバー又はクラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用しますと、部品・部材の脱落や垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。
- 湿気がこもる外壁裏への設置、多湿の箇所への設置、コンクリートやモルタルへの設置はしないでください。基材のソリ・ねじれ・腐食の原因となります。
- 下地材は、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 運搬・加工の際は、キズ付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因となります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買求め店までご連絡ください。(取付け後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 組立て時には平らな面に養生材を敷いて行ってください。養生材を敷かずに組立てを行うと床や製品を傷つけるおそれがあります。
- プラスドライバーはNO.2のものを使用してください。NO.2以外のもを使用するとねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 地板なしキャビネットは床置き納まりで設置してください。また、両側に壁又はキャビネットが配置されるように設置し連結してください。
- キャビネットW寸法の躯体寸法採り(開口などを含む)をする際には、納まりを確認して下記一覧表の寸法にて計算してください。また、キャビネットの取付けを考慮して、さらに組み合わせの合計寸法+5mmの余裕をみてください。

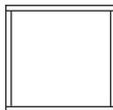
キャビネットの躯体寸法採り

必要寸法一覧

W呼称	W045	W09	W135	W18
必要寸法	451	901	1351	1801

例1) W045の場合

W045



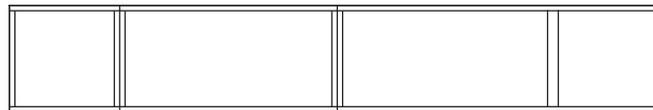
必要開口寸法：
451+5=456mm

例2) W045+W09+W135の場合

W045

W09

W135



必要開口寸法：
451+901+1351+5=2708mm

■部材・部品一覧表

■キャビネット

部材・部品名	地板ありキャビネット												地板なし/デスクキャビネット						
	W045H04 W045H07 W045H08 W045H09		W09H04 W09H07 W09H08 W09H09		W135H02 W135H04 W135H07 W135H08 W135H09		W18H02 W18H04 W18H08		W045H16		W09H16		W045H23		W09H23 家電専用		W045H08 W09H08 デスク	W045H23	W09H23
	(D400用)	(D280用)	(D400用)	(D280用)	(D400のみ)	(D400のみ)	(D400用)	(D280用)	(D400用)	(D280用)	(D400用)	(D280用)	(D400用)	(D280用)	(D400用)	(D280用)			
側板	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
天板	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
地板	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	—	—	—	—
背板	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
背板芯材	2	2	2	2	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3
中仕切り	—	—	—	—	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
固定棚板	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	2	2	2	2	—	2	2	2
ジョイント部品 (本体)	12	8	12	8	18	18	16	12	16	12	20	16	20	16	16	6	14	14	14
ジョイント部品 (キャップ)	12	8	12	8	18	18	16	12	16	12	20	16	20	16	16	6	14	14	14
ジョイント部品 (ボルトφ5用)	12	8	12	8	18	18	12	8	12	8	12	8	12	8	8	6	6	6	6
ジョイント部品 (ボルトφ3用)	—	—	—	—	—	—	4	4	4	4	8	8	8	8	—	—	8	8	8
躯体固定ねじ (皿木ねじφ4.5×63)	5	5	6	6	11	12	7	7	8	8	7	7	8	8	4	4	7	8	8
ワッシャー	2	2	2	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
ねじキャップ	6	6	6	6	8	8	12	12	12	12	12	12	12	12	12	8	12	12	12
連結ねじ(φ4×28)	4	4	4	4	4	4	8	8	8	8	8	8	8	8	8	4	8	8	8
補強金具	3	3	4	4	7	8	3	3	4	4	3	3	4	4	—	—	3	4	4
補強金具カバー材	3	3	4	4	7	8	3	3	4	4	3	3	4	4	—	—	3	4	4
補強金具固定ねじ (トラスタップねじφ4×12)	3	3	4	4	7	8	3	3	4	4	3	3	4	4	—	—	3	4	4
接着剤	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3
背板芯材用両面テープ (15×30)	6	6	6	6	12	12	9	9	9	9	9	9	9	9	9	6	9	9	9

■別売り商品/部材・部品一覧表

■台輪

部材・部品名	W045用	W09用	W135	W18用
前台輪	1	1	1	1
側台輪	2	2	2	2
後台輪	1	1	1	1
中台輪	—	—	1	1
台輪固定ねじ (皿木ねじφ4.5×63)	2	4	6	8
ワッシャー	2	4	6	8
ねじキャップ	2	4	6	8
木ダボ(φ8×30)	8	8	12	12

部材・部品名	1個入り
L字アングル	1
L字アングル取付けねじ(キャビネット側) (皿木ねじφ3.1×16)	2
L字アングル取付けねじ(躯体側) (皿木ねじφ3.8×45)	2

■固定・レンジ棚板

部材・部品名	W045/W09用
固定棚板・レンジ用棚板	1
ジョイント部品 (本体)	4
ジョイント部品 (キャップ)	4
ジョイント部品 (ボルトφ3用)	4

■カウンター

部材・部品名	W045/W09用	W135/W18用
カウンター	1	1
カウンター固定ねじ (皿タップねじφ4×40)	6	12
ワッシャー	6	12
ねじキャップ	6	12

■可動・樹脂棚板

部材・部品名	W045/W09(入1)	W045/W09(入4)
可動棚板・樹脂棚板	1	4
棚ダボφ3用	4	16

■フィルター

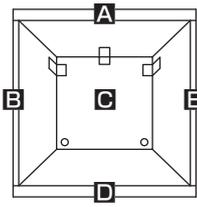
部材・部品名	W045/W09(入1)
フィルター本体	大(パネル部材): 1 小(ベース部材): 1
ナベタップねじφ4×40	12

■ハンガーバーセット

部材・部品名	W045/W09(入1)
ハンガーバー	1
プラケット	2

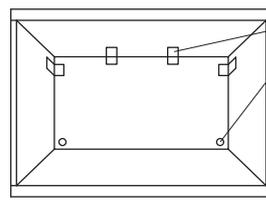
■各部名称図

■W045 (H04 / 07 / 08 / 09)



- ・補強金具：3カ所
- ・躯体固定ねじ (キャップ付)：2カ所

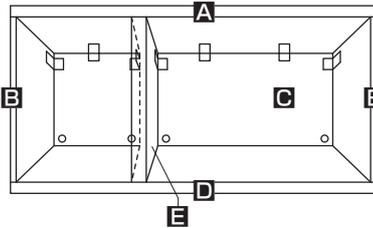
■W09 (H04 / 07 / 08 / 09)



- 補強金具
- 躯体固定ねじ (キャップ付)
- ・補強金具：4カ所
- ・躯体固定ねじ (キャップ付)：2カ所

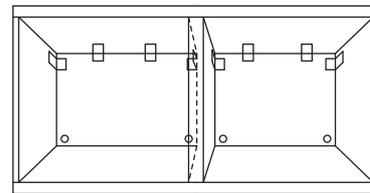
- A**：天板
- B**：側板
- C**：背板
- D**：地板
- E**：中仕切り
- F**：固定棚板

■W135 (H02 / 04 / 07 / 08 / 09)



- ・補強金具：7カ所
- ・躯体固定ねじ (キャップ付)：4カ所

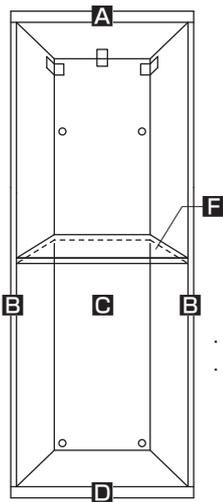
■W18 (H02 / 04 / 08)



- ・補強金具：8カ所
- ・躯体固定ねじ (キャップ付)：4カ所

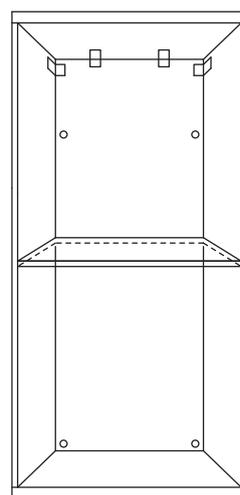
※W135の中仕切りは左右の位置を現場で選択できます。
プランを確認して天板・地板を使い分けてください。
(配線穴加工付きキャビネットは除く)

■W045H16



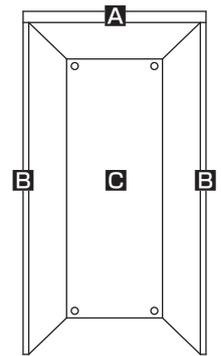
- ・補強金具：3カ所
- ・躯体固定ねじ (キャップ付)：4カ所

■W09H16



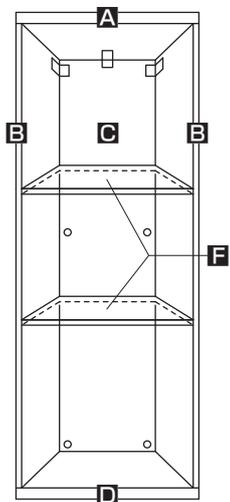
- ・補強金具：4カ所
- ・躯体固定ねじ (キャップ付)：4カ所

■地板なしH08 / デスクキャビネット



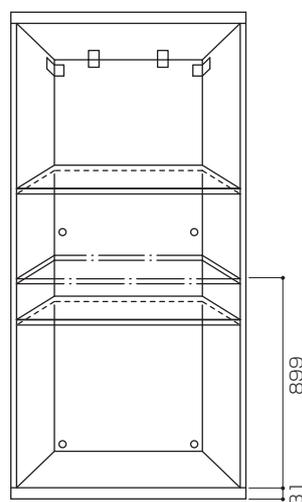
- ・躯体固定ねじ (キャップ付)：4カ所

■W045H23



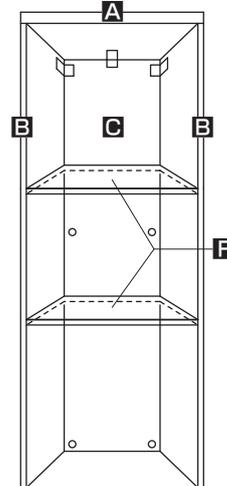
- ・補強金具：3カ所
- ・躯体固定ねじ (キャップ付)：4カ所

■W09H23 / 家電専用



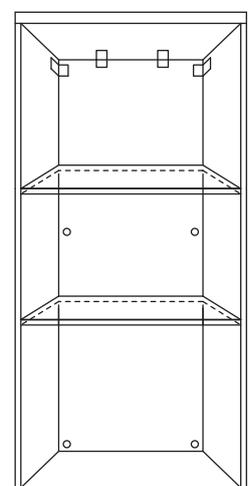
- ・補強金具：4カ所
- ・躯体固定ねじ (キャップ付)：4カ所
- ※家電専用のみ中ほどにレンジ棚などを取付けします。(側板には上下があります。)

■地板なしW045H23



- ・補強金具：3カ所
- ・躯体固定ねじ (キャップ付)：4カ所

■地板なしW09H23



- ・補強金具：4カ所
- ・躯体固定ねじ (キャップ付)：4カ所

■据付け前の準備

- 据付け場所・収納セットのプランを確認し、所定の壁面（躯体）に栈木を取付けます。
- ※栈木は厚さ30mm×90mm以上の硬木を使用してください。

▲警告

●必ず栈木を取付けてください。キャビネットの脱落・転倒のおそれがあります。

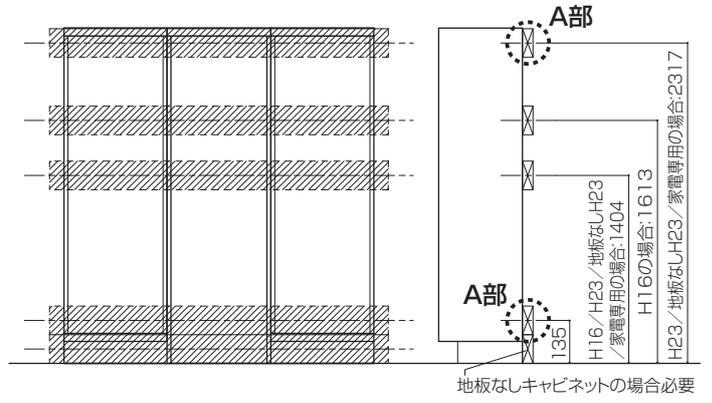
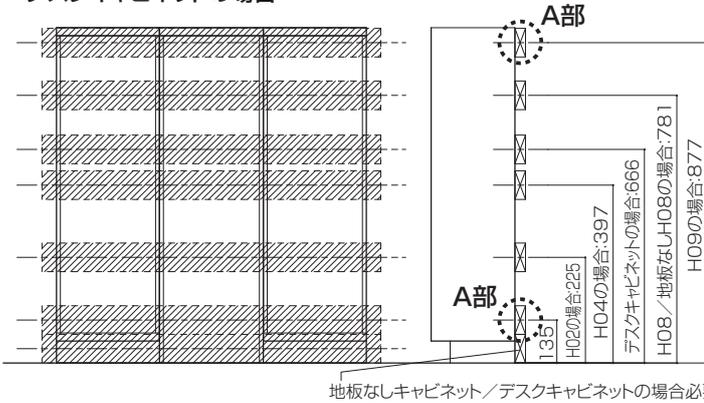
■栈木の取付け位置

【床置き納まりの場合】

●H02 / H04 / H08 / H09 / 地板なしH08 /

デスクキャビネットの場合

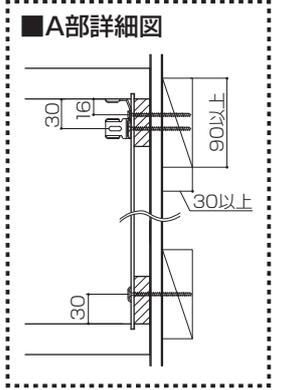
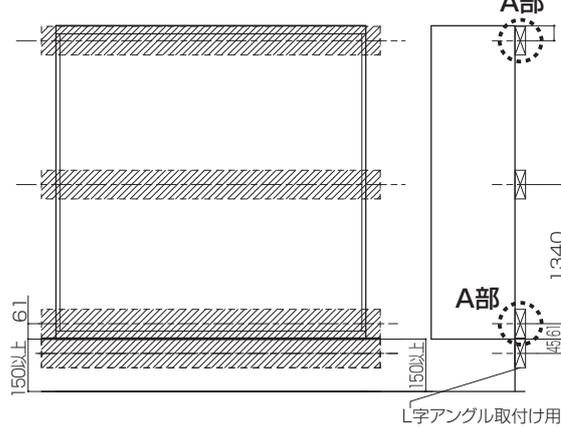
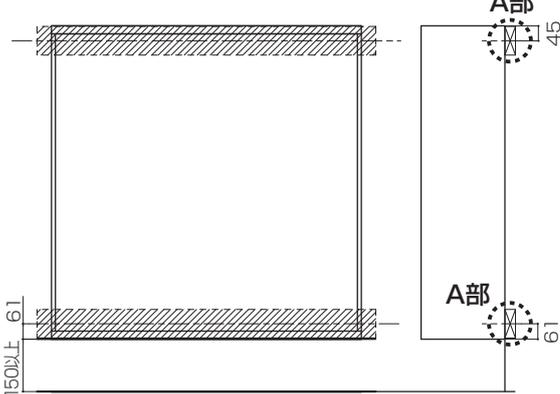
●H16 / H23 / 地板なしH23 / 家電専用の場合



【フロート納まりの場合】

●H02 / H04 / H07 / H08 / H09の場合

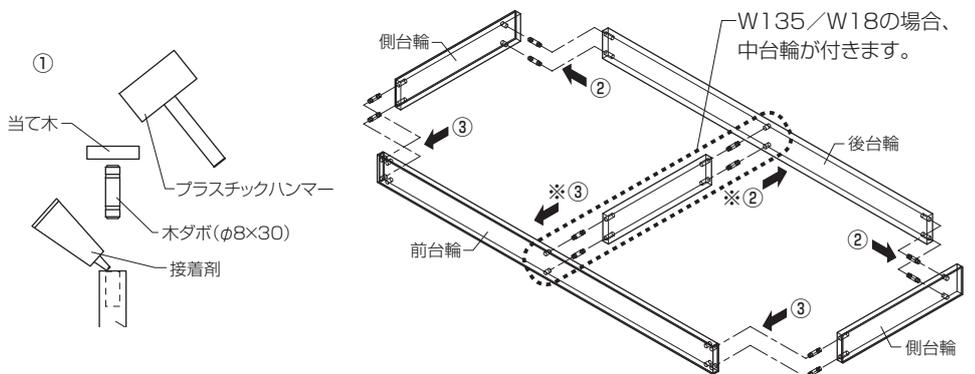
●H16の場合



■台輪の組立て順序

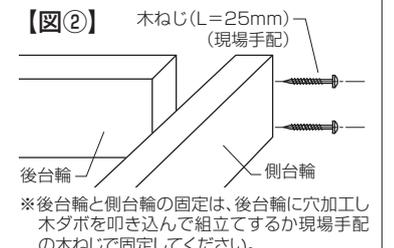
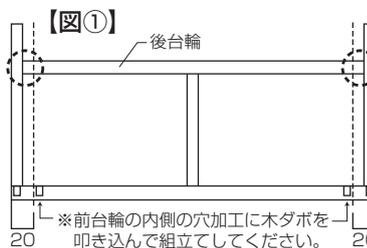
■台輪の組立て

- ①側台輪のダボ穴に接着剤を充てんし、木ダボ（φ8×30）をプラスチックハンマーなどで叩きこみます。（叩き込む際には当て木（現場手配）を使用してください。）
※W135 / W18の場合は中台輪が付きます。中台輪も同様に接着剤を充てんし、木ダボを叩き込んでください。
- ②後台輪のダボ穴に接着剤を充てんし、側台輪に差込みます。
※W135 / W18は中台輪を後台輪に差込んでください。
- ③前台輪のダボ穴に接着剤を充てんし、側台輪（W135 / W18の場合は中台輪も）を前台輪に差込んでください。



■幅木を逃がすために台輪を現場で切断して使用する場合

- ※入隅に納める場合などで、側面の幅木に対応するために、台輪のW寸法をカットすることができます。切断は両端20mmずつ切断することができます。【図①】
- ※切断すると後台輪のダボ穴加工がなくなってしまいます。現場にてφ7.8～8深さ21mmの穴をあけ直すか、ねじ頭が幅木にあたらないように、現場手配の木ねじで後台輪と側台輪を接続してください。【図②】



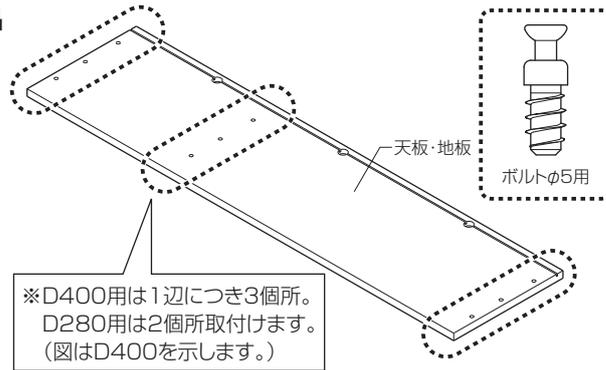
■キャビネット組立て前の準備

1 ジョイント部品(ボルト)の取付け

■側板・中仕切り用ジョイント部品

(ボルト)の取付け

- 天板・地板にジョイント部品(ボルトφ5用)を取付けます。
- ※図は中仕切りの場合を示します。



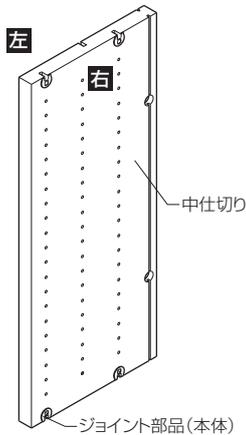
お願い

■ジョイント部品(ボルト)の取付け方法

- ※必ず手回しドライバー又はクラッチ付ドライバーで取付けてください。
- ※適切な位置に取付けてください。組立てができなくなります。

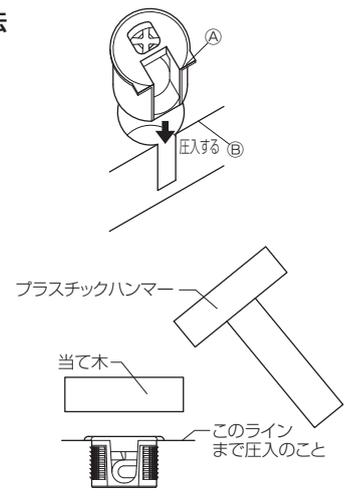
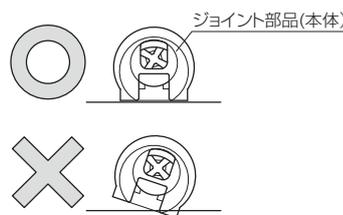
2 ジョイント部品(本体)の取付け

- 側板・中仕切り・固定棚板にジョイント金具(本体)を取付けます。
- ※中仕切りの場合は表裏に取付けてください。



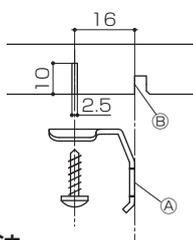
■ジョイント部品(本体)の取付け方法

- ※A(ジョイント部品の端部のライン)、B(部材の端部のライン)が平行になる様に設置し、垂直に圧入してください。
- ※B面より部品が出張らないように圧入してください。(入りにくい場合は当て木をしてプラスチックハンマーなどで叩き込んでください。)



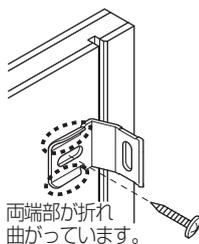
3 補強金具の取付け

- 天板・側板・中仕切りに補強金具を取付けます。
- ※地板なしH08/デスクキャビネットの場合は必要ありません。



■補強金具の取付け方法

- ①天板・側板・中仕切りにφ2.5深さ10の下穴をあけてください。(右記の加工位置図参照)
- ※(配線加工付キャビネット以外)天板・地板は同じ部材となりますので、どちらか選んで加工してください。
- ※配線加工付キャビネットは天板に配線孔加工がされています。
- ②A(補強金具の裏面)、B(背板溝の面)が平行で一直線になるように補強金具固定ねじ(なべタッピンねじφ4×12)で固定してください。
- ※補強金具は背板溝に対して右記の図の向きに取付けてください。
- ※補強金具は背板溝に対して右記の図の向きに取付けてください。

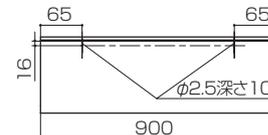


【天板加工位置図】

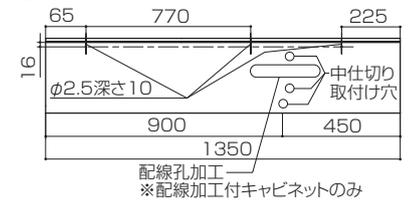
●W045



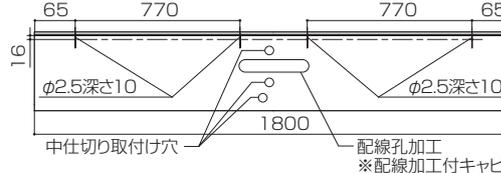
●W09



●W135

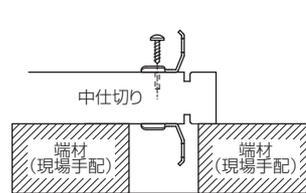
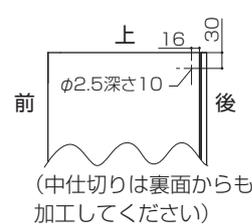


●W18



- ※中仕切りを取付けする位置によって加工が左右対称になります。上図の場合、中仕切りが右側につきます。

【側板・中仕切り加工位置図】



- ※中仕切りに補強金具を片側取付けた後、もう一方を取付ける際、補強金具が折れることを防ぐため、中仕切りの下に端材を敷いてください。(高さ30mm以上)

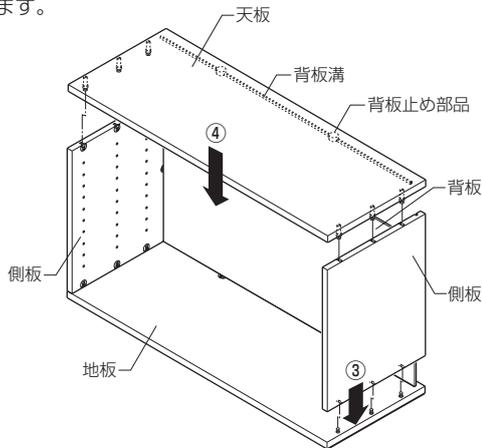
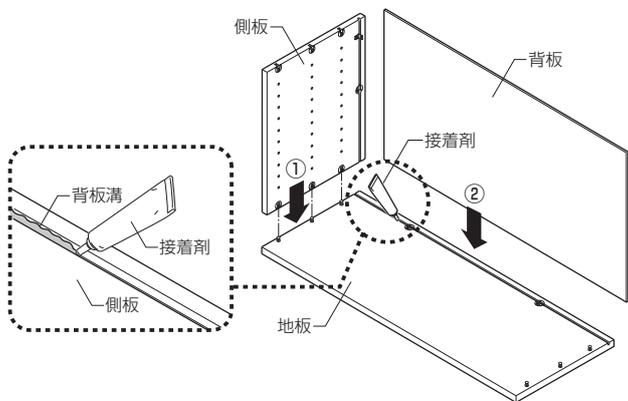
■キャビネット組立て順序

■キャビネットの組立て

■W045/W09の場合

- ① 地板に側板をはめ合わせます。
- ② 側板・地板の背板溝に接着剤を充てんし、背板を差込みます。

- ③ 地板にもう一方の側板をはめ込みジョイント部品を固定します。
- ④ 天板の背板溝に接着剤を充てんし、天板をはめ合わせ、ジョイント部品を固定します。



※図はD400用を示します。

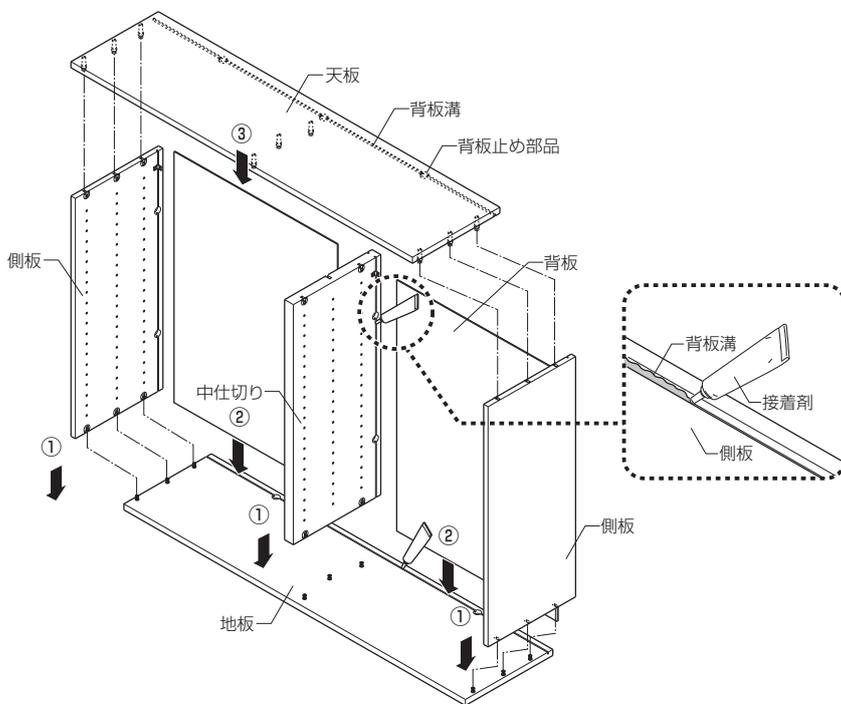
■W135/W18の場合

- ① 地板に側板、中仕切りをはめ合わせジョイント部品を固定します。
- ② 中仕切り、地板、側板の背板溝に接着剤を充てんし、背板を差込みます。
- ③ 天板の背板溝に接着剤を充てんし、中仕切り・側板にはめ合わせ、ジョイント部品を固定します。

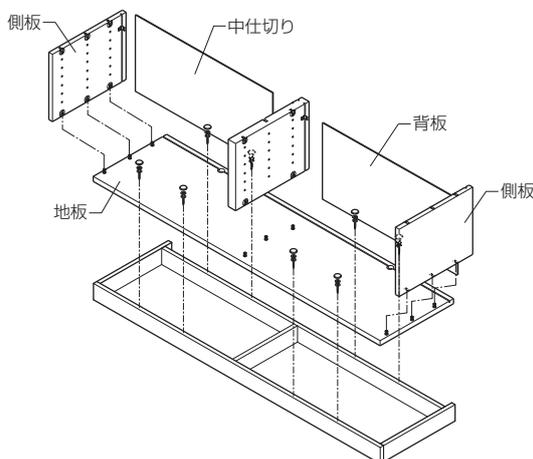
●お願い
※背板が背板溝に入っていることを確認してください。

▲警告

●組立ての際は、接合部など指定個所には、必ず付属の接着剤を充てんしてください。又、組立て後は接着剤が硬化するまで(半日以上)養生してください。キャビネットが脱落するおそれがあります。



■H02キャビネットの場合

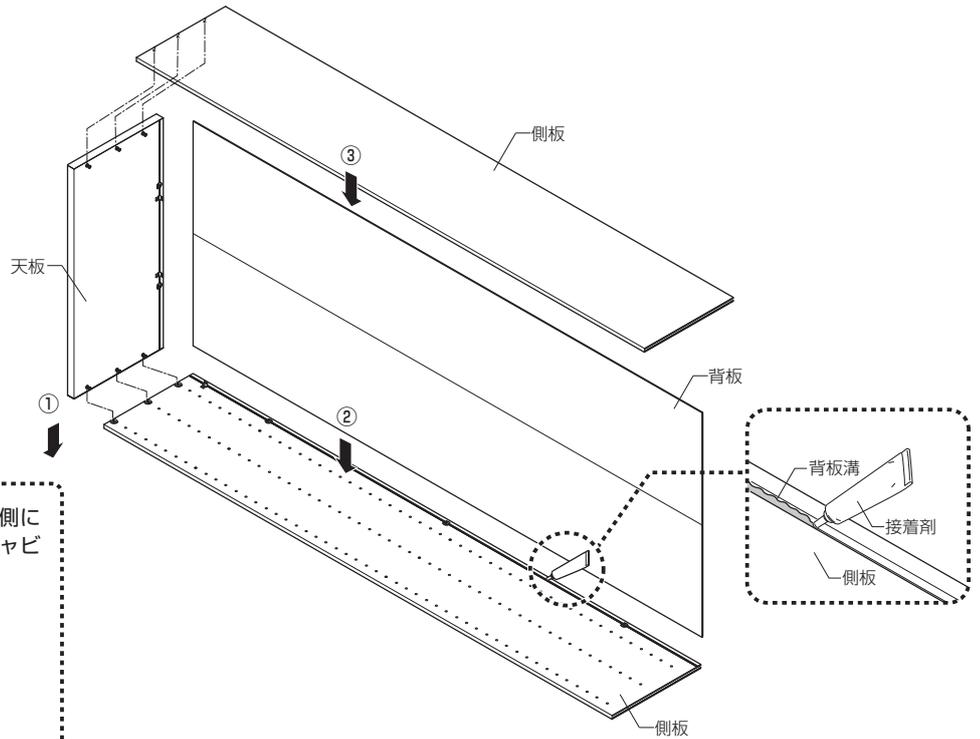


※H02キャビネットの場合はキャビネット組立て後には台輪を固定することができません。天板をはめ合わせる前に台輪とキャビネットの地板を固定してください。(台輪とキャビネットの連結方法はP9『**3**台輪+各キャビネットの連結』を参照してください。)

※台輪を2台以上並べる場合は、キャビネットと台輪を連結する前に台輪同士を連結してください。(台輪同士の連結方法はP9『**1**台輪の設置』を参照してください。)

■**地板なし／デスクキャビネットの場合**

- ①側板に天板をはめ合わせジョイント部品を固定します。
- ②側板、天板の背板溝に接着剤を充てんし、背板を差込みます。
- ③もう一方の側板の背板溝に接着剤を充てんし、天板にはめ合わせ、ジョイント部品を固定します。



お願い

※接着剤が硬化するまで、キャビネット下部内側に養生用部材(現場手配)を入れてください。キャビネットのW寸法が正しく出なくなります。

お願い

■**ジョイント部品の固定方法**

※必ず手回しドライバーで固定してください。

※よく締まらない場合は、回転部のツメを直して締付けるか、ジョイント部品本体にボルトがはめ合わされているか確認してください。(回転部のツメが出ているとボルトが入りません。)

※ドライバーは、斜めに差込んでください。ジョイント部品が破損するおそれがあります。

【はめ合わせ時】

※ねじの平らな面を側板と平行にしてはめ合わせます。

【締めた時】

※ねじを90°～105°回転させて固定してください。

■**ジョイント部品(キャップ)の取付け**

●ジョイント部品(本体)に、ジョイント部品(キャップ)を取付けます。

■**組立て後の確認**

●キャビネットの水平・対角・垂直方向の内法寸法が、それぞれ等しいことを確認してください。

※寸法の確認は接着剤硬化前に行ってください。

■**背板止め金具の固定**

●背板止め金具を固定します。

■**背板止め金具の締め方**

●マイナスドライバーで右回りに締付けます。

【組立て前】

【組立て時】

※この状態で背板を組込んでください。

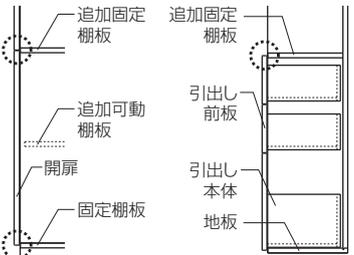
3 固定棚板の取付け

■開扉

※扉が必ず固定棚板又は、天板・地板に当たるようにしてください。

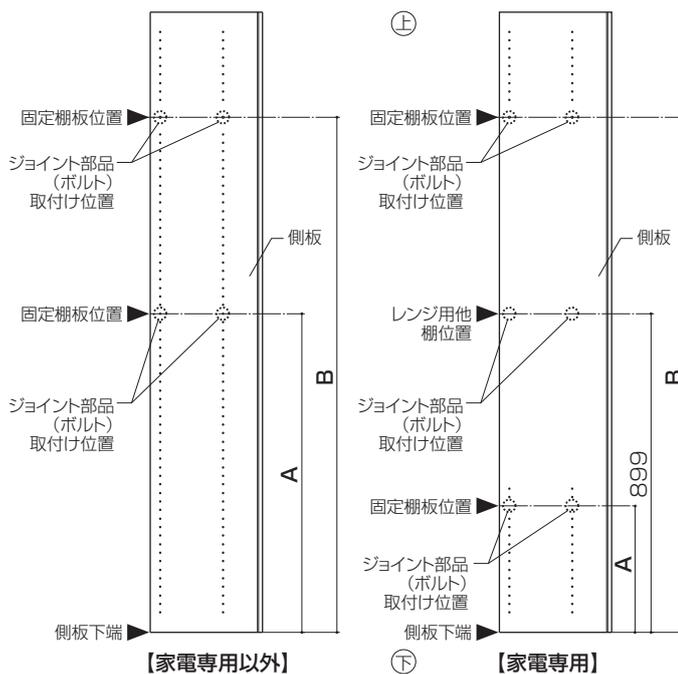
■引出し

※引出し前板(引出しを連続して複数取付ける場合は最上部の引出しの前板)が必ず固定棚板に当たるようにしてください。



■固定棚用ジョイント部品(ボルト)の取付け

●ジョイント部品(ボルトφ3用)を側板の固定棚板取付け位置に取付けます。



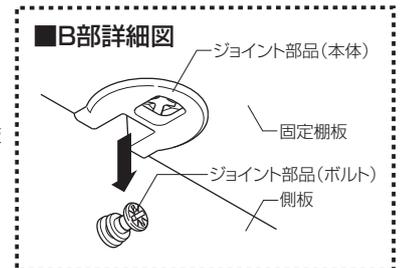
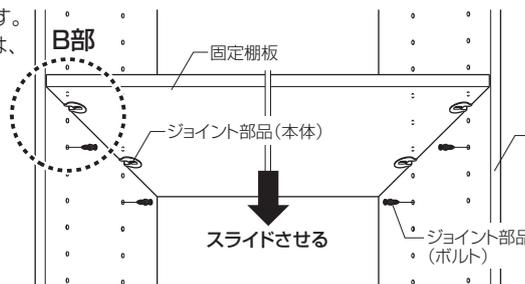
固定棚取付け推奨位置

キャビネット種別	A	B
H16	771	—
H23	739 ^{※1}	1571
家電専用H23	355	1571
地板なしH23	834	1666

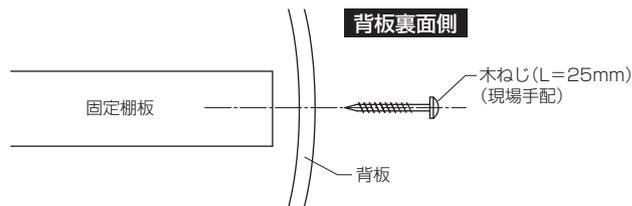
注) 1. 推奨位置であっても扉の組合せプランによっては丁番などと干渉し扉が取付けできない場合があります。その場合は、プランに合わせて棚板位置を数段ずらして取付けてください。
2. H16 (DH=1596) の扉を W045H23 サイズのキャビネットに下端寄せで取付ける場合は、A=771mm の位置に取付けてください。

※家電専用のみ側板には上下がありますので取付けには注意願います。

- ①ジョイント部品(ボルトφ3用)を側板に取付けます。※ジョイント部品(ボルト)の取付け方法については、P5の「お願い」を参照してください。
- ②固定棚板をスライドさせて組み込み、ジョイント部品(本体)を固定します。※ジョイント部品の固定方法については、P7の「お願い」を参照してください。

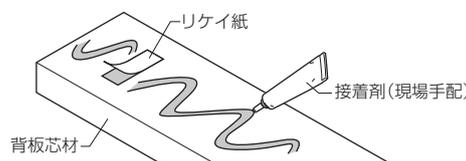


※側板の背板溝の奥まで背板が入っていないと、背板がたわみ、固定棚との間に隙間があく場合があります。その場合は固定棚に向かって、背板の裏から現場手配の木ねじ(L=25)で背板を引き寄せてください。



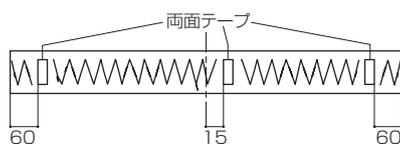
4 背面芯材の取付け

●図のように背板芯材に両面テープを貼り、両面テープを避けて、同梱の接着剤を塗布して、付いている両面テープのリケイ紙をはがし、背板に貼付けてください。(同梱の接着剤で足りない場合は、現場で手配してください)

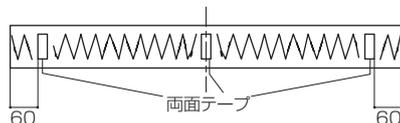


警告
●必ず背板芯材に接着剤を塗布してください。

●W045/W135(短)用芯材の場合



●W09/W135(長)/W18の場合

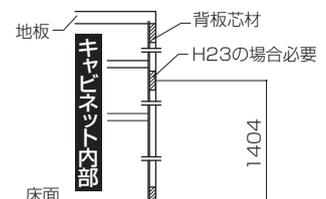
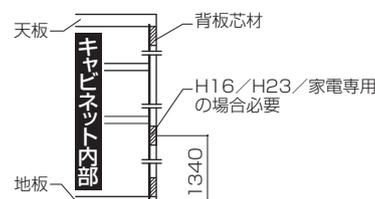


■背板芯材貼付け位置

背板芯材はキャビネット裏面から天板・地板(又は床面)と接するように背板裏面に貼付けてください。H16およびH23サイズに関しては中ほどにも背板芯材の貼付けが必要です。貼付け位置は下図を参照してください。

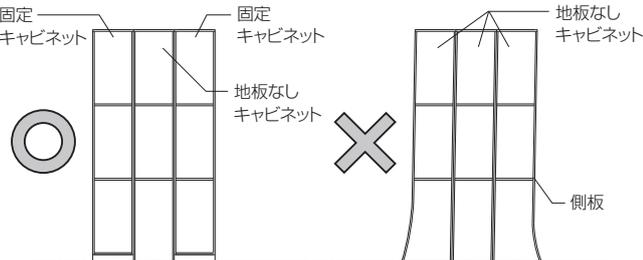
【地板ありキャビネットの場合】

【地板なし/デスクキャビネットの場合】



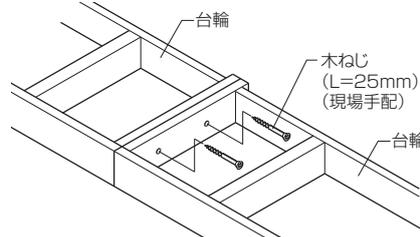
■キャビネット取付け順序

●お願い
※地板なしキャビネットは必ず床置き納まりです。また、必ず両隣に床置き納まりの固定キャビネットを設置して、側板同士を連結してください。地板なしキャビネット単体で設置すると側板が固定できず、側板の垂直が確保できません。



■台輪の設置(台輪納まりの場合)

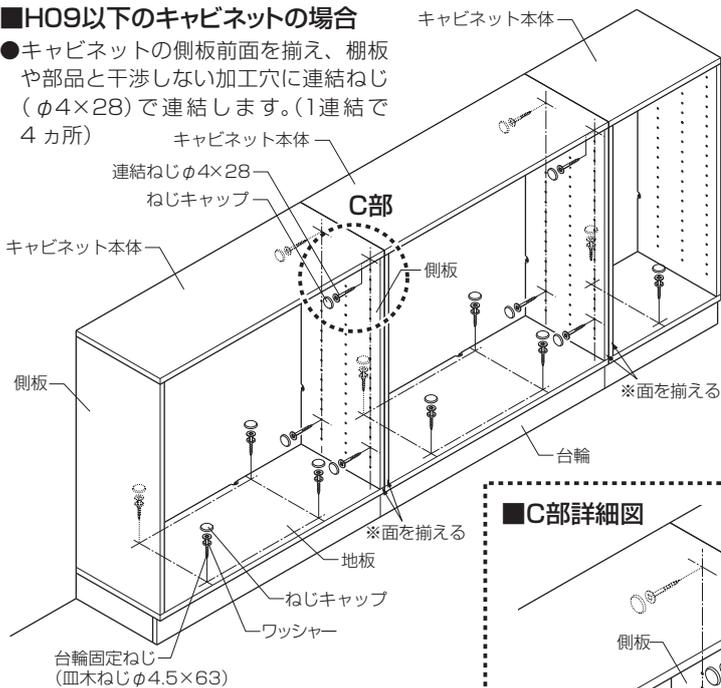
●据付け場所に台輪を置きます。
※台輪を2台以上並べる場合は、木ねじ(L=25mm、現場手配)で連結してください。



■キャビネットの左右連結

■H09以下のキャビネットの場合

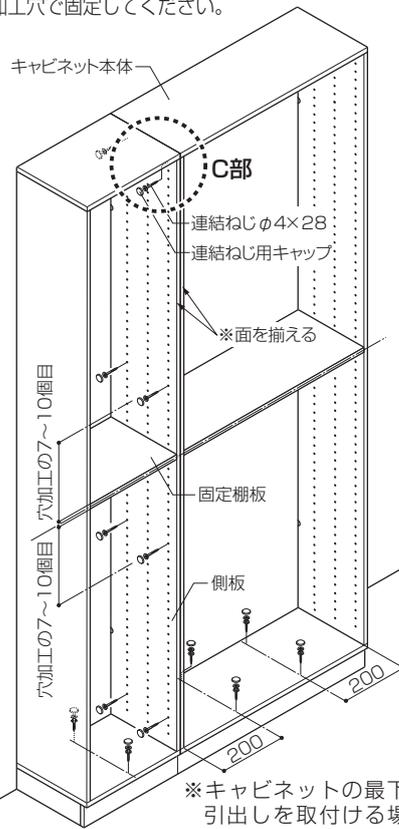
●キャビネットの側板前面を揃え、棚板や部品と干渉しない加工穴に連結ねじ(φ4×28)で連結します。(1連結で4カ所)



※キャビネットの最下段に引出しを取付ける場合はねじキャップは不要です。

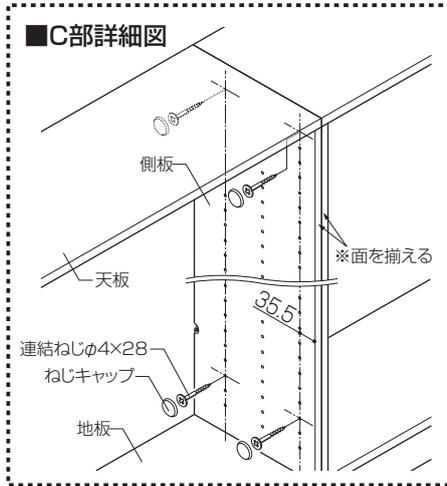
■H16以上のキャビネットの場合

※1連結で8カ所
※天板・側板に近い位置(穴加工の1~5個目)および、キャビネット中央から上下(穴加工の7~10個目)で棚板や部品と干渉しない加工穴で固定してください。



※キャビネットの最下段に引出しを取付ける場合はねじキャップは不要です。

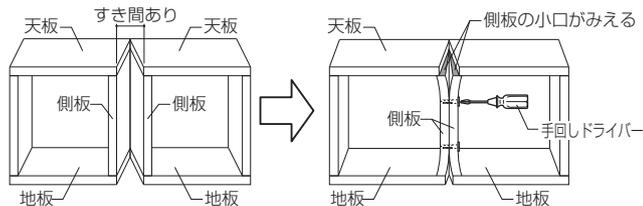
■C部詳細図



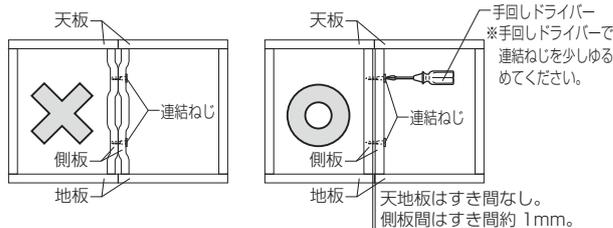
●お願い

※連結にあたっては必ず下記事項をお守りください。

①キャビネット(天/地板)の前左右にすき間ができないように連結してください。すき間がある状態で無理に連結ねじで固定した場合、側板が引寄せられて側板の小口が見えるおそれがあります。



②側板が連結ねじ部で波打ちしている場合は、連結ねじを少しゆるめ、すき間を均等にしてください。



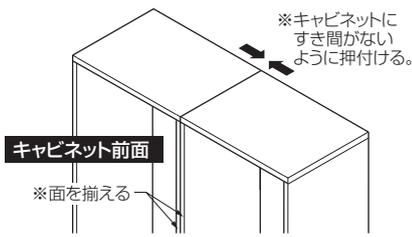
■台輪+各キャビネット連結(台輪納まりの場合)

●キャビネットの内側から台輪に台輪固定ねじ(皿木ねじφ4.5×63)で連結します。(W045につき前後2カ所)
※この時、キャビネット背面を揃えてください。
※連結にあたってはφ3.5で下穴をあけねじ固定してください。



4 壁面(躯体)への固定

※水準器・下げ振りでキャビネットの水平・垂直を調整しながら躯体固定ねじ(φ4.5×63)で壁面(栈木)に固定します。



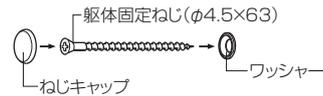
警告

- キャビネットが脱落するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・キャビネットの固定の際は指定のねじを指定の本数使用し、栈木の場合は25mm以上かかるようにしてください。
- ・必ず指定の位置で固定してください。
- ・壁面(躯体)への固定は付属のねじでキャビネットの倒れないように取付けてください。
- ・床置き納まりにする場合は、安定した平らな床面に取付けてください。畳・じゅうたんなど不安定な下地に取付けないでください。

■壁面固定位置(正面図)

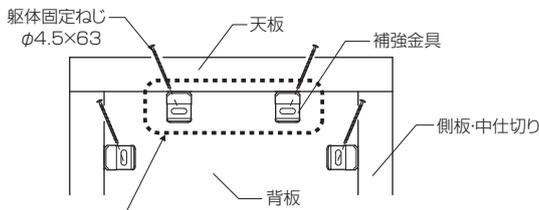
- ①キャビネットを台輪に仮置して、すき間がないように押付けます。
- ②キャビネット前面を揃えます。
- ③キャビネットにφ4(貫通)の下穴をあけます。
- ④躯体固定ねじ(φ4.5×63)でキャビネット上部の補強金具部と、キャビネット下部を壁面に固定します。

■D部詳細図



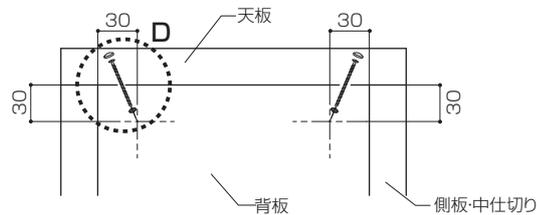
【キャビネット上部】

●地板なしH08/デスク以外の場合



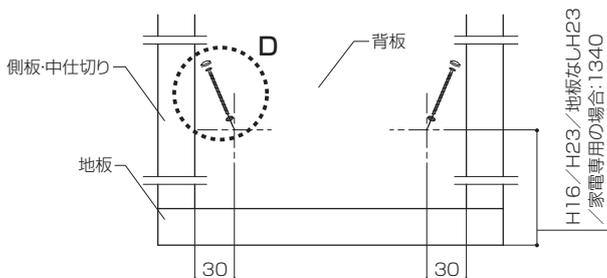
天板側の補強金具はW045/W135(短)は1個、W09/W135(長)/W18は2個となります。

●地板なしH08/デスクキャビネットの場合



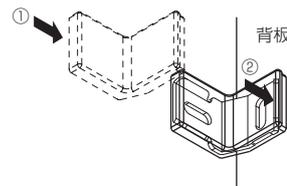
【キャビネット中央部】

●H16/H23/地板なしH23/家電専用の場合



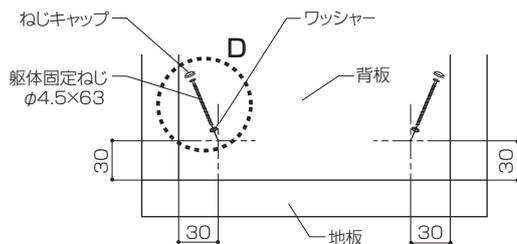
■補強金具カバー取付け図

- 補強金具はビス固定後、カバーを取付けてください。
- ①金具と平行にカバーをスライドさせます。
 - ②カバーの先端を押し込みます。

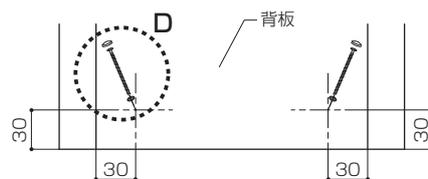


【キャビネット下部】

●地板ありキャビネットの場合



●地板なしキャビネットの場合



■キャビネット取付け順序(フロート納まりの場合)

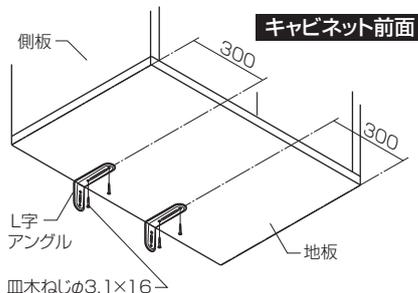
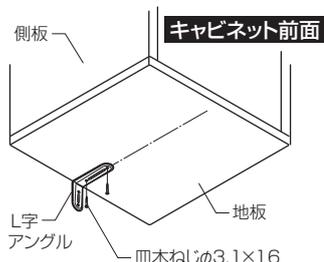
※W045H16／W09H16のキャビネットをフロート納まりで取付けする場合、L字アングルが必要です。

▲警告

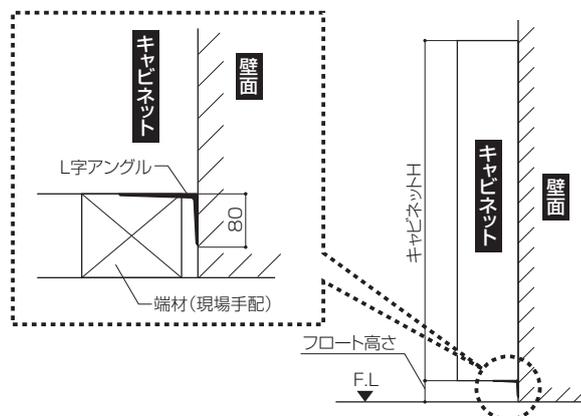
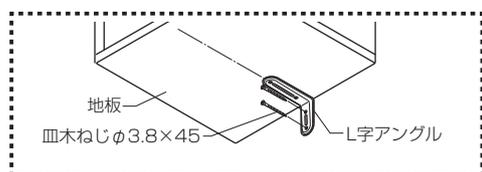
●W18H08／W045H23／W09H23／デスク／地板なし／家電専用キャビネットは必ず床置き納まりで使用してください。フロート納まりで使用されるとキャビネットの脱落のおそれがあります。

【W045×H16(1ヶ所)】

【W090×H16(2ヶ所)】



- ①キャビネットの地板に、φ2.5の下穴をあけ、L字アングルを皿木ねじ(φ3.1×16)で取付けます。
- ②L字アングルを皿木ねじ(φ3.8×45)で壁面に固定します。



※フロート納まりの場合、キャビネットを床に仮置きする場合、L字アングルが折れるのを防ぐため、キャビネットの下に端材を敷いてください。(高さ100mm以上)

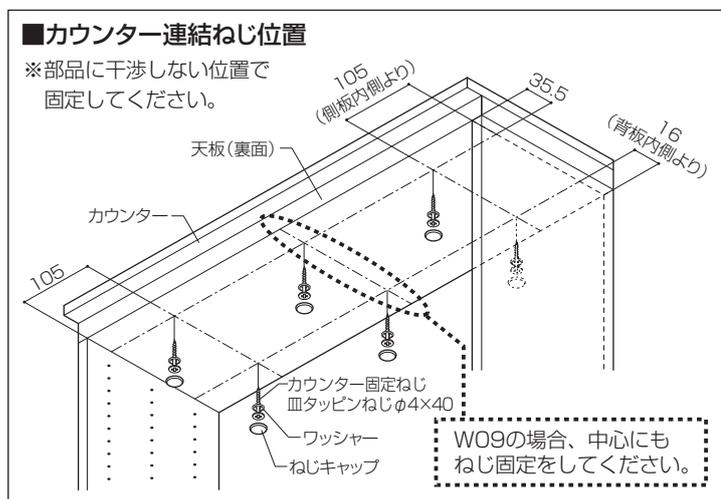
■納まり部材の取付け順序

1 カウンターの取付け

- ①天板の裏側からφ5の下穴をあけます。
- ②カウンターを天板の裏側からカウンター固定ねじ(皿タッピンねじφ4×40)で固定します。

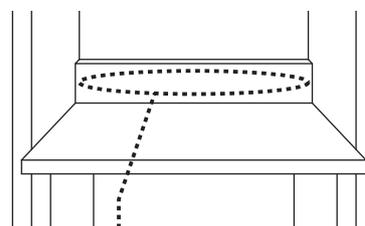
■カウンター連結ねじ位置

※部品に干渉しない位置で固定してください。

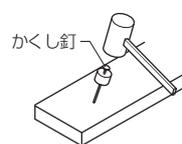


2 デスク用幕板の取付け

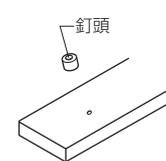
デスク用幕板をデスクキャビネットカウンターの上に設置し、かくし釘(現場手配)と接着剤(現場手配)で壁面に固定します。



①かくし釘で面打ちする

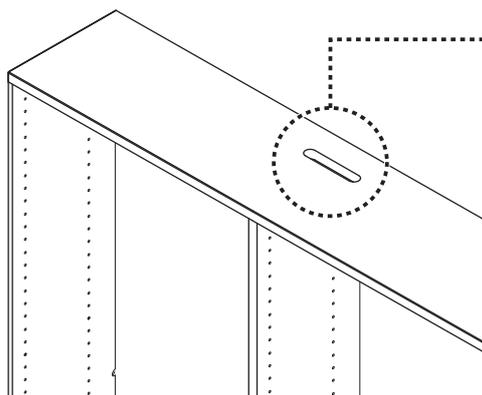


②釘頭を飛ばす

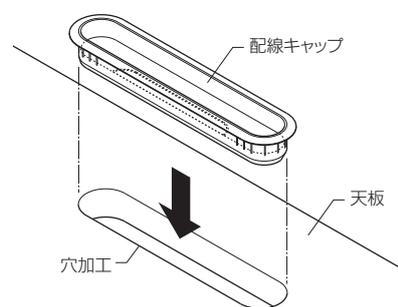


3 配線キャップの取付け

配線穴加工付きキャビネットには配線キャップが同梱されています。天板に配線キャップをはめ込んでください。



●配線キャップをはめ込みます。



4 フィラーの取付け

■取付け前の準備

[A] 側板と壁の間を納める場合

- フィラーベース材を取付ける高さ寸法に合わせて切断し、ナベタッピンねじφ4×40で固定します。(400mmピッチ)

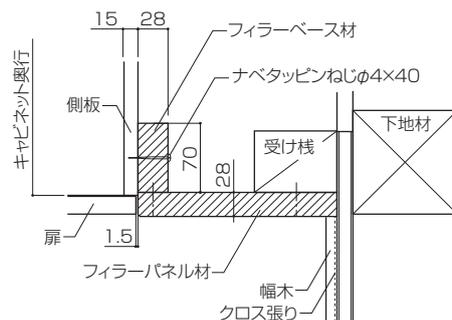
[B] 天板と天井の間を納める場合

- フィラーベース材を天板W寸法に合わせて切断し、ナベタッピンねじφ4×40で固定します。(各天板に対して左右2カ所)

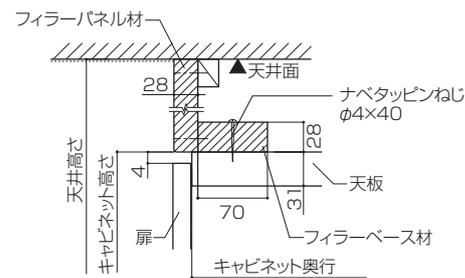
■フィラーパネル材の取付け

- ・ 取付け寸法を採寸しフィラーパネル材を切断し、かくし釘(現場手配)と接着剤(現場手配)でフィラーベース材と受け棧に固定します。

■納まり図(横断面図)



■納まり図(縦断面図)



●お願い

- ※ フィラーパネル材は、連結したキャビネットを採寸して切断してください。
- ※ フィラーベース部材は、キャビネットを躯体に固定する前に取付けてください。
- ※ フィラーベース部材はキャビネット内部の穴や部品、部品固定ねじと干渉しない位置で固定してください。

■オプション品取付け手順

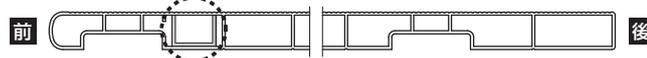
1 可動棚板・樹脂棚板の取付け

- 側板の任意の穴に棚ダボを差込み、棚板をのせます。

■可動棚板



■樹脂棚板

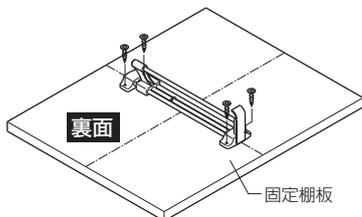


●お願い

- ※ W09用樹脂棚板は鉄芯が入っている側を前側にして設置してください。棚板が脱落するおそれがあります。

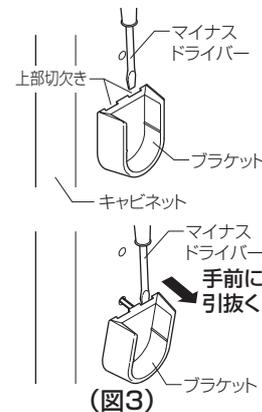
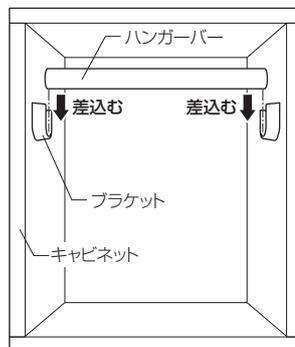
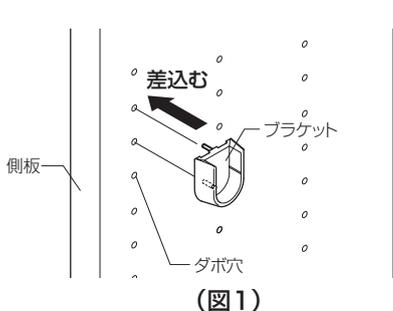
2 スライドパイプの取付け

- 固定棚板の裏面中央に、付属のねじで取付けます。



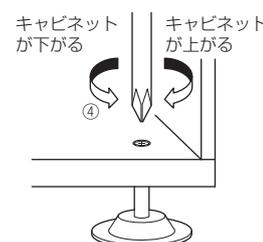
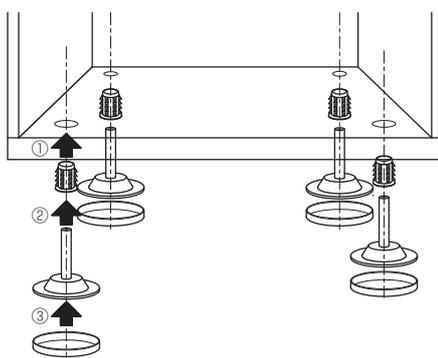
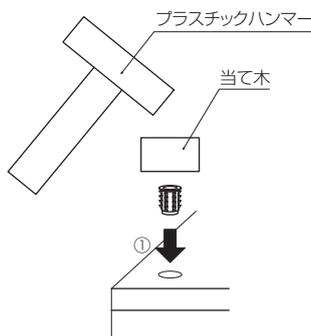
3 ハンガーバーの取付け

- ① 側板のダボ穴にブラケットを差込みます。(図1)
- ② ハンガーバーをブラケットの上から差込んで取付けます。(図2)
- ※ ブラケットを取外す際は、ブラケット上部切欠きにキャビネットをキズつけないようにマイナスドライバーを差込み、手前に引抜いて外してください。(図3)



■アジャスター部品 (特注) 取付け手順

- アジャスター特注の場合、アジャスター部品を取付けしてください。
- ① 地板加工に、キャビネットの外側から鬼目ナットを叩き込みます。(あて木をしてプラスチックハンマーなどで叩き込んでください。)
- ② 地板の外側からアジャスター部品をねじ込んでください。
- ③ アジャスター部品の底面にキャップを取付けてください。
- ④ アジャスター部品を回転させてキャビネットが水平になるように調整してください。



- ※ H02キャビネットの場合は、キャビネットが低いため、長いドライバーが入りません。短いドライバー等で調整してください。